

地域福祉トータルケア推進事業の概要

「住民の住民による
住民のためのまちづくり」



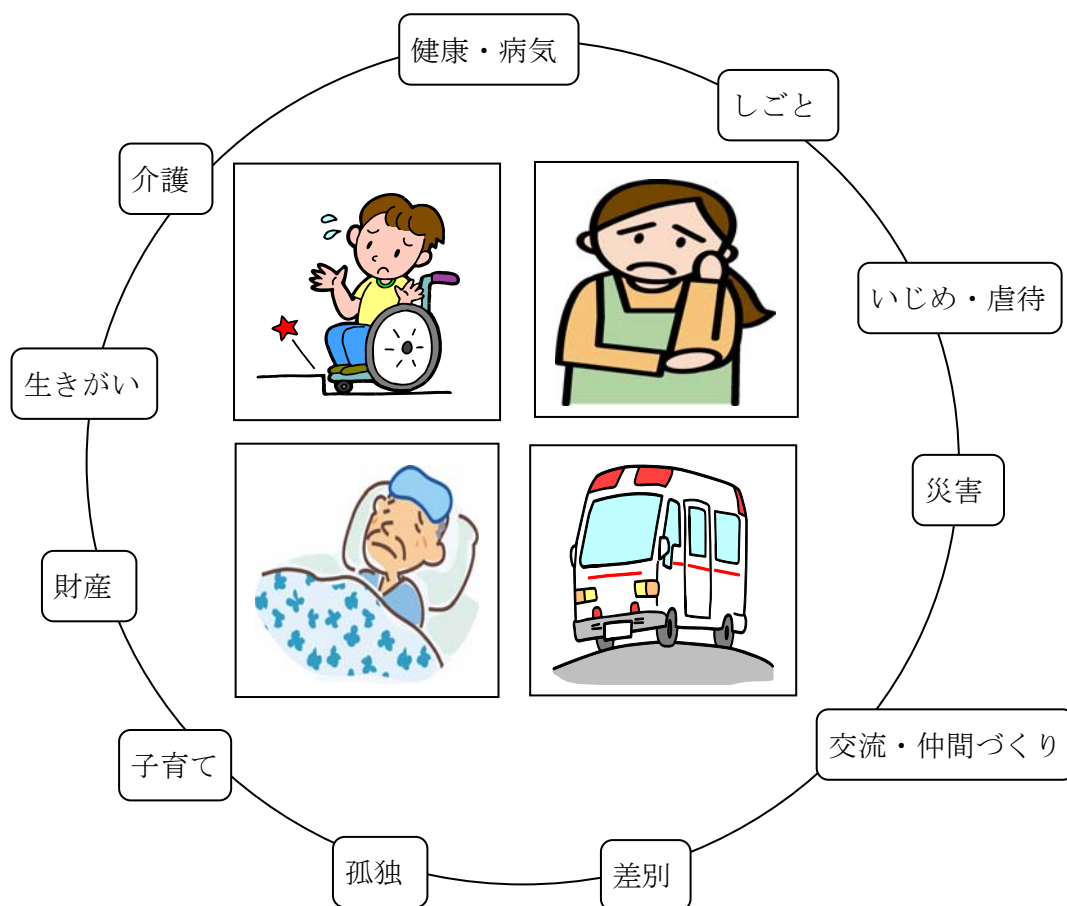
社会福祉法人 湯沢市社会福祉協議会

私たちが暮らす地域を見てみると、困りごと、悩み、不安を抱えている方々がたくさんいます。

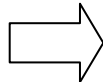
今、私たちが暮らす秋田県は、子どもが生まれる数が年間 7,998 人（平成 16 年度）と全国で最も少なく、また、全人口に 65 歳以上のお年寄りが占める割合は平成 22 年には約 28%になり、全国一の高齢県になると予想されています。また、平成 17 年 7 月現在の湯沢市の高齢化率は 29.11%となっております。

さらに、景気の低迷により経済的に不安を抱えている方、子育てに悩んでいる方など、人と人とのつながりが薄くなっていることなどを背景に、子どもからお年寄りまでさまざまな心配ごとを抱えている方々が増えてきています。

このような生活上の不安や、悩みを解決に導き、安心して暮らすことができるようにするために、地域の福祉活動を進める社会福祉協議会が中心となり、住民の皆さんや行政機関、民生児童委員、福祉サービス事業者などが一緒に考え行動することが必要となっています。



これらは、いまあるサービスだけでは対応できないような悩みや問題です。



そこで、社協や住民、行政などがいっしょになって、これらのニーズに対応できる地域をつくるのが、「地域福祉トータルケア推進事業」です。

湯沢市社会福祉協議会は、このような問題を解決し、一人ひとりの願いをかなえるために「地域福祉トータルケア推進事業」(トータルケア)を始めました。

湯沢市社会福祉協議会では、県民の皆さんが安全に安心して暮らしていただけるように、各地区社会福祉協議会および各支部社会福祉協議会と共に手をとりながら、行政や民生児童委員、社会福祉施設、そして地域の会社やボランティアなど幅広い方々と協力しながら、その解決に向けた取り組みをスタートさせました。

「トータルケア」とは？

子どもからお年よりまで、福祉・医療などの公的なサービスと地域の方々による支え合いにより、その人らしくいきいきと安全に安心して暮らしていただけるような地域社会を実現する取り組みです。

トータルケアを日本語に置き換えると、「総合的な生活支援」という表現になります。

「トータルケア」が目指すもの

1. 総合相談・生活支援システムの構築

どんな相談でも受け止める相談窓口を湯沢市社会福祉協議会に設置します。

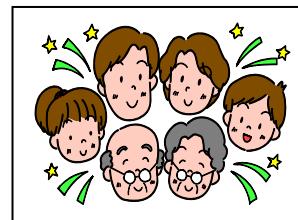
そして、福祉、保健・医療、生涯学習、などの専門機関と連携しながら課題解決に努めます。



2. 福祉を支える人づくり

社会福祉協議会職員が地域に出向き、住民のさまざまな悩みや問題の把握に努めます。

そして、地域の課題を住民の皆さんと共有化し、住民の皆さんと話し合いの場を設けながら、課題解決に向けた取り組みのお手伝いをします。



3. 介護予防のための健康づくりや生きがいづくり

高齢者が要介護状態にならないような健康維持活動に取り組むとともに、趣味活動や生きがいづくりを通して高齢者の自殺予防につなげます。



4. 福祉による地域活性化

空き家や空き店舗などを活用した交流拠点づくりと、商工会や企業などの異業種と連携しながら「福祉」の視点でまちづくりを進めます。



トータルケアの進め方にはこれといった決まりはありません。
それぞれの地域の課題や状況に応じて活動を展開していくものです。

気づく・見つける

- ・ひとり暮らし高齢者が増えてきた
- ・高齢者の除雪が大変そう
- ・空き家が目立つようになった
- ・子どもの遊び相手が近所にいない
- ・子どもの下校時が不安だ など



受けとめる

- ・いろいろな人の悩みや不安、困りごとを受け止める場所を作る
- ・町内会で地域のいろんな課題について話し合ってみる など



課題を整理する

- ・一人暮らし高齢者の方は買い物にも困っている
- ・家に閉じこもりがちな高齢者や障害者がいる
- ・子育てで悩んでいる若いお母さんも多い など



方策を考える、まとめる

- ・町内会館で週1回お年寄りやが集まる場を作ろう
- ・子ども見守り隊を作ろう など



伝える、つなげる、つくる

- ・まとめた方策をより多くの方々に伝え、協力者を募る
- ・同じような取組をしている地域の情報を集める など



実行する



確かめる（取り組みの成果や課題を確認する）



次へ進める（課題を踏まえより効果的な活動へつなげる）



一人ひとりが自分らしくいきいきと安心して暮らしていけるように認め合い、支え合いながら共に生きていく地域社会の実現を目指しましょう！